

地域の拠点づくり

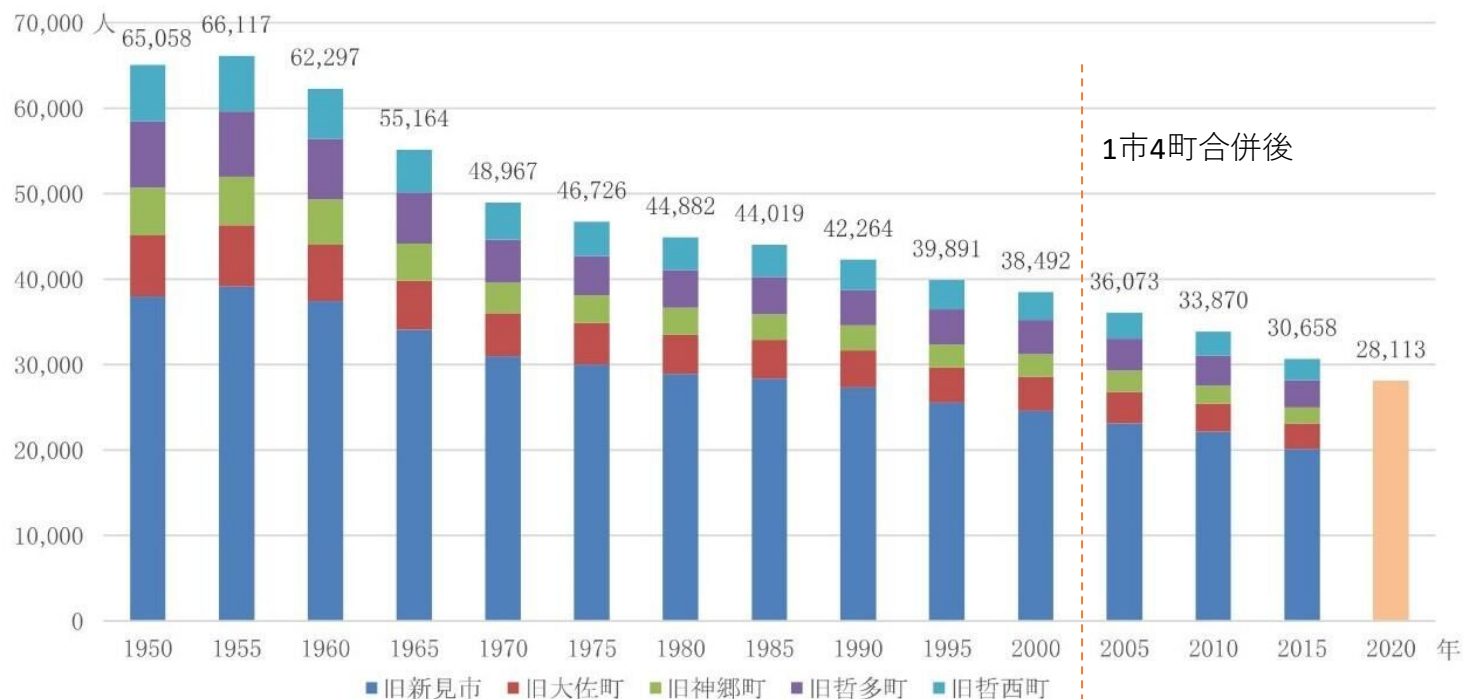
下熊谷はぐくむ会

新見市下熊谷地域



1. 旧市町村別

図1 - 1 新見市の人口推移①（旧市町村別）



資料：総務省「国勢調査」、1950年～2020年

現在の新見市は、2005年3月に1市4町（新見市、大佐町、新郷町、哲多町、哲西町）が対等合併して生まれた。これらの旧市町村別に過去の人口推移をみると、どの市町もほぼ同じ傾向で推移している。

下熊谷の概要

新見市街地より北東に位置する

県道32号線新見勝山線並びに、JR姫新線、中国縦貫道沿いに通じる東西沿いや、それらと交差する南北の谷沿いに集落を形成

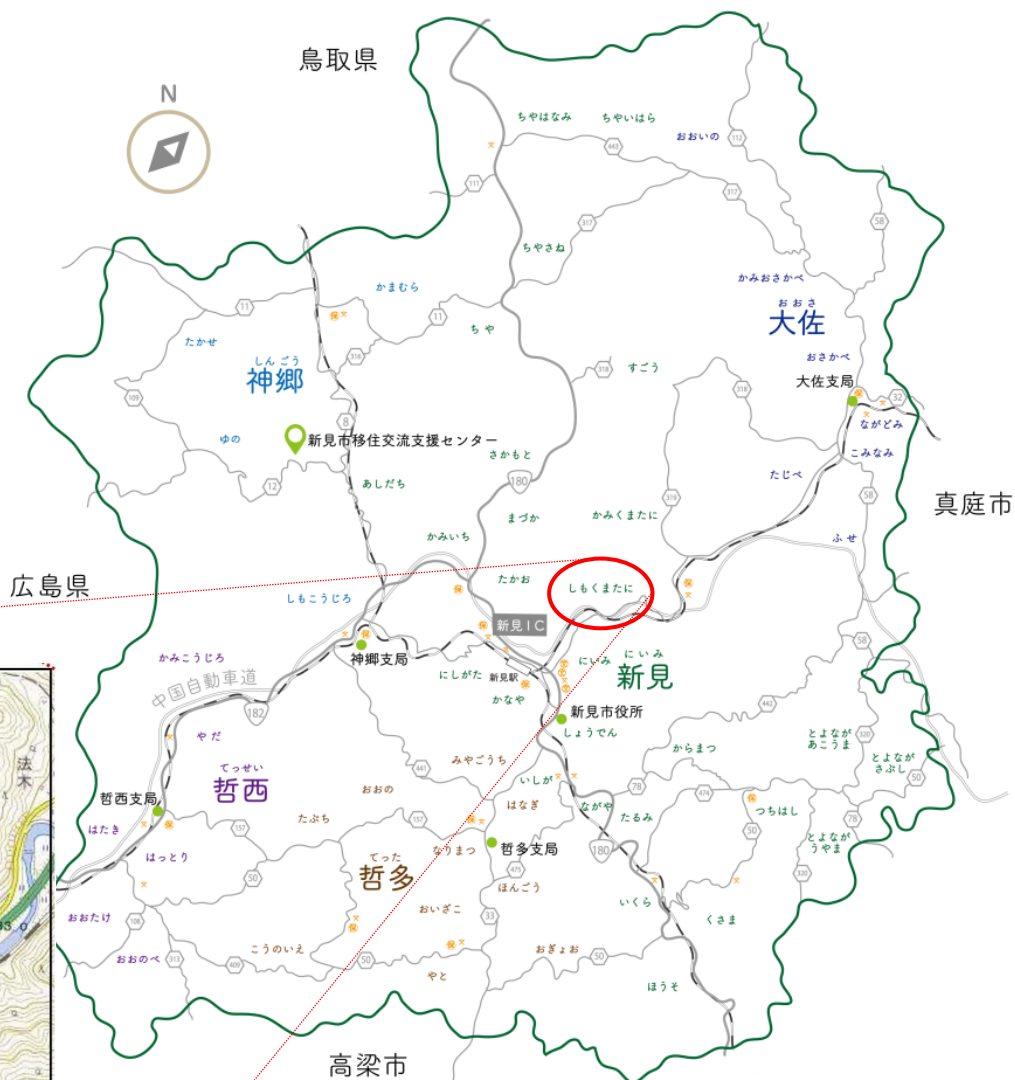
○公共交通等

JR：停車駅なし(新見駅4km)

バス：県道32号線沿いに備北バスが運行
(一日6往復)

公民館：なし

食料品店：なし



下熊谷地区中心部

旧下熊谷小学校

デイサービス
げんき

新見市森林組合本所

県森連新見支所

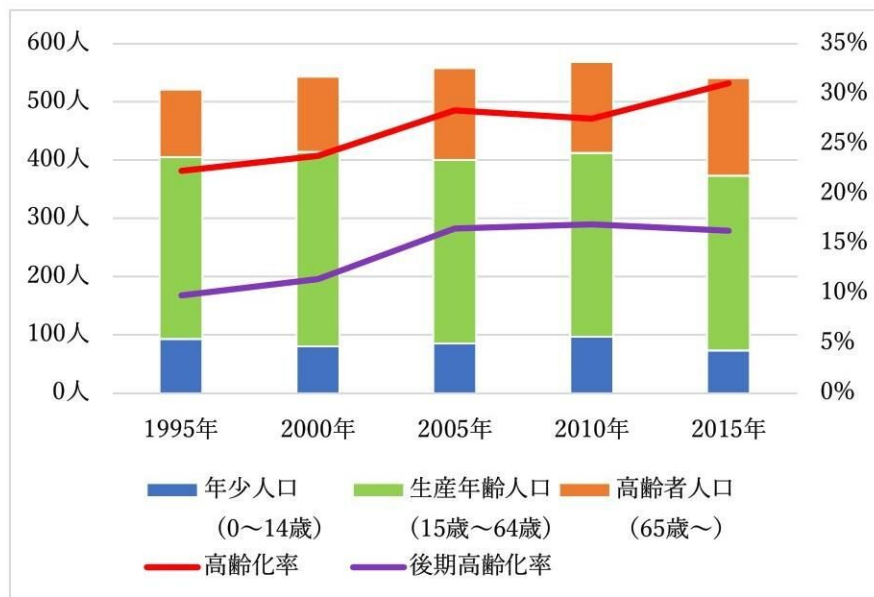
新見市立運動公園
体育館

文…教育機関
公…公共施設
福…福祉施設

下熊谷地区人口推移

	1995年	2000年	2005年	2010年	2015年
年少人口	93	80	85	97	73
	17.9%	14.7%	15.2%	17.1%	13.5%
生産年齢人口	312	334	315	315	300
	59.9%	61.5%	56.5%	55.5%	55.5%
高齢者人口	116	129	158	156	168
高齢化率	22.3%	23.8%	28.3%	27.5%	31.1%
後期高齢者人口	51	62	92	96	88
後期高齢化率	9.8%	11.4%	16.5%	16.9%	16.3%
総人口	521	543	558	568	541

出典：1995～2015年国勢調査



○人口構成等

2023/10/31現在

人口：485人

世帯数：154世帯

構成集落：14地区

65才以上：37%

2045年時の予想

人口：411人

65才以上：43%

自治会および活動拠点の沿革

西暦	和暦		摘 要	備 考	補 足
1982年	(昭和57年)	10月	下熊谷地域振興会 発足	14小部落より2名ずつ役員、任期2年	
1984年	(昭和59年)	3月	コミュニティハウス完成	和室4室、台所、くみ取りトイレ、井戸水	
2009年	(平成21年)	3月	下熊谷小学校 閉校	全校児童約30名で推移、複式学級	児童はバスで4km先へ通学
2011年	(平成23年)	5月	旧下熊谷小学校の一部改修	1教室に畳、様式トイレに変更	使いにくく利用者は少ない
2019年	(令和1年)		新見市より地域運営組織の打診		理解不十分で立ち上げ不可
2020年	(令和2年)	3月	小規模多機能自治の勉強会	地域に元気を取り戻すため多機能自治への移行決定	
		10月	小字ごとに地区民に説明会開始	新型コロナ発生により、数回延期	集会が開催できない
		12月	全住民にアンケート実施		
2021年	(令和3年)	2月	下熊谷の未来を語る会を開催	アンケート結果を踏まえ更に、ワークショップ	体育館-7グループ
		6月	下熊谷はぐく会の設立(小規模多機能自治)	14小部落2名役員+消防、PTA、長寿会等に要請	新型コロナ発生により、4月→6月に延期
		9月	廃校舎改築「生き生き拠点強化支援事業」	岡山県の補助事業に申請および適用	
		11月	廃校舎改築のためのワークショップ開催	意見をまとめ最終案を県に提出	
2022年	(令和4年)	2月	コミュニティハウス解体アンケート実施	活動拠点の集中化、老朽施設の統合	上下水道なし。和式トイレ
		11月	旧下熊谷小学校舎改修工事着工	アスファルト、エアコン、調理室、LED、障害者トイレ、光ファイバ、遊具	
2023年	(令和5年)		名称変更 旧下熊谷小学校→下熊谷地域づくりセンター		
		4月	地域づくりセンター指定管理者協定	基本協定書の締結	
		4月	地域づくりセンター開所式	旧下熊谷小学校の校舎改修工事完了	
		10月	コミュニティハウスの解体完了		

下熊谷地区の皆さんへ

下熊谷地域振興会 会長 山 本 健 次

下熊谷のこれからの地域づくりの取り組みにご協力ください

新見市では人口減少が進んでいます。今後の地域づくりの仕組みとして、地域の幅広い課題解決に、地域の人が協力して取り組む「**小規模多機能自治**」があります。これは、地域振興会などを母体として地域づくりに取り組む「地域運営組織」の創設を地域ごとに進めていくものです。

下熊谷地域振興会としても地域の皆さんのご意見をお聞きしながら、この取り組みを進めていきたいと考えておりますので、ご協力をよろしくお願い致します。

これから取り組むこと

① 各地区ごとの説明会

各地区ごとに新見市や新見市社会福祉協議会の担当職員に来ていただき、事業の説明と意見交換を予定しています。
開催日程などは地区ごとに、ご案内します。

② 中学生以上を対象としたアンケート

「この地域が将来こんな風になったらいいなあ」とか「今、こんなことで困っているんだけど」など皆さんが思っていることや感じていること、「自分はこのことに協力できるよ」といった地域活動への参加意向などを、アンケート調査でお伺いしますので、ご協力をお願いします。
アンケート調査の結果は、これからの地域づくりの参考とさせていただきます。

③ 下熊谷地域のことを話し合うワークショップ

アンケート調査の結果や皆さんの意見などとともに、小学生以上の皆さんに参加してもらい、下熊谷の将来計画を作っていくための話し合い場「ワークショップ」でいろいろなアイデアを出していただき「**まちづくり計画**」としてまとめます。

④ 下熊谷地域を運営する組織への移行準備

「まちづくり計画」の策定や組織・規約の見直しなど、地域運営組織の設立準備を行い、地域の皆さんの承認をいただくこととなります。

○2020/10/13～11/20

小字毎の住民説明会

○2020/12/7～12/19

アンケート用紙配布・回収

○2021/2/21～3/13

「下熊谷の未来を語る会」開催
及び意見・提案のまとめ

下熊谷地域づくり

アンケート

□ ご記入にあたってのお願い □

- 1 対象者・・・中学生以上の方全員
- 2 記入・・・1人につき1枚
- 3 回収・・・**令和2年12月19日(土)**までに記入し、回収用封筒に入れてください。
各地区の振興会理事又は評議員が回収いたします。

問6 下熊谷地域での課題や取組が必要なことはなんでしょうか。分野ごとに重要だと思うもの3つまでを選び○をつけてください。

(1) 自然環境分野

- | | |
|-------------|---------------|
| ① 山林の荒廃 | ② 荒廃農地・休耕地の増加 |
| ③ 有害鳥獣被害の増加 | ④ ゴミなどの不法投棄 |
| ⑤ 河川の整備 | ⑥ その他 () |

(2) 生活環境分野

- | | | |
|--------------|---------------------|----------|
| ① 路線バスの本数 | ② 路線バス以外の交通手段の確保-32 | |
| ③ 道路・歩道の整備 | ④ 医療機関の不足 | ⑤ 商店が少ない |
| ⑥ 空き地・空き家の増加 | ⑦ 街路灯の設置 | |
| ⑧ その他 () | | |

(3) 防災・防犯分野

- | | |
|----------------------|---------------------|
| ① 地域防災の充実(防災計画・防災訓練) | |
| ② 避難困難者の把握と避難計画 | ③ 避難所の整備と充実 |
| ④ 消防団員の不足 | ⑤ 消火設備の整備(消火器具、消火栓) |
| ⑥ 防犯対策 | ⑦ その他 () |



現状と目標とする将来像



目標実現のために必要な取組み(アンケート調査、下熊谷の未来を語り合う会等での意見)

部会

分野	テーマ	現状の課題・問題点	分野別の将来像	既存の取組み	新たに考えられる取組み	部会
産事	<ul style="list-style-type: none"> ■ 行事 ■ 交流 ■ にぎわい 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 地域内イベントの整理・充実 ■ 住民同士の交流が少ない ■ 地域(活動)人材の育成と確保 ■ 地区間や世代間の交流の促進 ■ 行事(若者)の参加者の減少 ■ 行事の継続、集約整理 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 誰とでも笑顔であいさつができるまち ■ お互いの顔が見えるまち ■ 人と人がつながり、みんなのところが温かいまち ■ 子どもから大人まで多くの人が楽しく活躍する全員参加のまち ■ 誰もが気軽に集まれる場所があるまち ■ 若者世代が活躍する活気のあるまち 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 納涼祭り ■ 芸能祭 ■ ほたるまつり 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 旧下熊谷小学校の活用(全世代がいつでも交流できるコミュニティの場、子どもの遊び場、クッキング教室、映画上映など) ■ 地域住民全員が参加できるイベント(運動会、マスコリ大会など) ■ 季節に応じたイベント ■ 若者が活躍する環境整備 ■ 既存イベントの評価・整理(人と人がつながり、ふれあうことを目的としたイベント) 	教育・文化部会
子ども	<ul style="list-style-type: none"> ■ 子育て ■ 健全育成 ■ 教育 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 子ども・児童・生徒の減少 ■ 子どもが集まる場、遊べる場所の不足 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 子どもが自由に遊び、集い合うまち ■ 子どもが安心して暮らせ、元気な声が響くまち ■ 地域全体で子どもを育てるまち ■ 子どもが郷土愛を持ち続けるまち ■ 子育て中の親同士のつながりを大切にすまち 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 見守り、声かけ ■ 実行委員会(忠誠小学校PTA20支会) ■ 新見第一中学校支会 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 公園の整備(子どもが集まり、アスレチックなど体が自由に動かせる公園) ■ 子どもの居場所づくり(いつでも自由に集える施設・場所、子ども食堂、相談所など) ■ 地域での見守り事業(地域版読後児童クラブなど) ■ 下熊谷版寺子屋(高齢者などから、言語やふさごのことを学ぶ取組、郷土愛を育む取組) ■ 子どもがしっかりとあいさつする取組 	
観光文化	<ul style="list-style-type: none"> ■ 観光 ■ 伝統文化 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 伝統行事・文化の担い手、参加者の減少 ■ 祭礼行事への負担感 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 伝統を継承しつつ新しいことを取り入れるまち ■ 観光客を大事にするおもてなしのまち(花桃公園の維持・PR) ■ 地域の伝統・文化を大切にすまち 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 芸能祭 ■ とんど祭り ■ 伝統行事・祭礼の継承 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 花桃公園の整備・充実・管理(東屋整備など) ■ 道の駅の設置(観光、グルメ、特産物など) ■ 地域の特産物を活用した料理教室 ■ 三三三祭 ■ 地域の名所・旧跡・文化財を再認識する取組 ■ 伝統行事・文化継承の取組(お年寄りから子どもへの歴史の伝承) ■ 大学生との交流・連携 	環境・防災部会
産業・雇用	<ul style="list-style-type: none"> ■ 特産物 ■ 農業 ■ 雇用 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 後継者や担い手不足 ■ 地域内での仕事・雇用の場の確保 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 特産物(品)がたくさんあるまち ■ 近くに働く場が確保され生活しやすいまち 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 特になし 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 木材市場と連動した木材関連事業所の整備・誘致 ■ 青空市場(野菜など特産物の販売) ■ 子どもを対象とした農業体験の取組 ■ 農作業誘導などの取組(機械の共同利用とも) ■ 特産物の開発、6次産業化(収穫・加工・販売)の取組 ■ 野豬防護柵の設置(集落ごと効率的な一体整備) 	
自然環境	<ul style="list-style-type: none"> ■ 自然 	<ul style="list-style-type: none"> ■ ゴミの不法投棄 ■ 池や河川の維持 ■ 有害鳥獣被害の増加 	<ul style="list-style-type: none"> ■ ゴミのないきれいなまち(ゴミのポイ捨てゼロのまち) ■ 美しい花であふれるまち ■ 山菜が採れる自然豊かなまち ■ 水のきれいなまち 	<ul style="list-style-type: none"> ■ グリーン作戦 ■ 廃品回収 ■ 花いっぱい運動 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 川遊びができる公園の整備 ■ ホテルが舞うきれいな川の整備(大谷川、黒谷川) ■ 地域資源の再発見(景観のいい場所など) 	
安全・防災	<ul style="list-style-type: none"> ■ 防犯 ■ 災害 ■ 防災 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 自然災害の頻発 ■ 避難所の整備充実 ■ 避難困難者の把握と避難計画 ■ 防犯灯が少ない 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 災害に強く自然も多く残っているまち ■ 事件・事故が少ないまち 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 道路愛護会活動 ■ 危険箇所調査と防災マップの作成 ■ 防犯組織、消防団による警戒活動 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 自主防災組織の設置・運営 ■ 避難所の整備・充実 ■ 地域防災の充実(防災計画、防災訓練、連絡網(LINE活用)整備) ■ 避難困難者の把握と避難訓練 ■ 防犯灯の増設、維持・管理(通学路など) ■ 生活道路の整備(車道と歩道の分割整理) 	福祉部会
地域の暮らし	<ul style="list-style-type: none"> ■ 人口 ■ 空き家 ■ 農地 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 人口減少(少子高齢化、若者流出) ■ 空き地や空き家の増加 ■ 農地や山林の荒廃、維持 ■ 有害鳥獣被害の増加 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 人が減っても、住みやすく、豊かさを家感できるまち ■ 若者世代が安心して暮らせ、地域に残る若者が多いまち ■ 都会から安心して移住できるまち 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 特になし 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 下熊谷公式YouTubeの製作・発信(IT-IOTを駆使) ■ テレワークの受け入れ ■ 道路沿いへの花の植栽(花弁、桜など) ■ 耕作放棄地を活用した遊歩道・花壇整備 ■ 遊歩道、ベッドタウンの発想によるまちづくり ■ 空き家、空き地、耕作放棄地の有効活用 ■ 人口維持・増の取組(空き家、空き農地のあっせんなど移住者支援) 	
生活	<ul style="list-style-type: none"> ■ 日常生活 ■ 生活基盤 ■ 生きがい 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 買い物や通院の交通手段 ■ 商店が少ない ■ 車取り・車列りなど家周り、田畑などの管理 ■ 交流・集いの機会が少ない 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 人がつながり、助け合い支え合うまち ■ みんな仲良く、会話ができ、支え合うまち(協働・共助) ■ 買い物に不自由のないまち ■ 全世代が生きがいを持ち、楽しく笑顔で過ごせるまち 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 隣近所の助け合い ■ 地区別サロンの運営 	<ul style="list-style-type: none"> ■ らくらくの延伸や路線バス以外の交通手段の充実・確保 ■ 有償ボランティアサービス(移動支援(通院、買い物、美容院など)、買物代行、車列り、雪かき、ペットの世話などの有料サービス) ■ 拠点となる商業施設等の維持・確保、コンビニの誘致、移動販売車誘致など 	
福祉・健康	<ul style="list-style-type: none"> ■ 医療 ■ 福祉 ■ 健康 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 一人暮らし高齢者の増、交流機会の減 ■ 高齢者の通院、買い物等が困難 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 近所同士が助け合い支え合うまち ■ 困り事など遠慮なく伝えることができるまち ■ お年寄りが安心して暮らせ活躍するまち 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 友愛訪問事業 ■ 敬老会 ■ 福祉ネットワーク事業 ■ 独居老人訪問、あんしんカード活動 ■ いきいき健康アップ事業 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 旧下熊谷小学校の活用(困り事など自由に話し合い共有し、解決に向けた取組につなげる場) ■ 見守り、声かけ、安否確認、生活支援(ヘルパー等)の取組 ■ 高齢者がいつでも話ができ集える常設サロンの開設、オンライン交流システムの構築 ■ 三世代交流グラウンドゴルフ大会 	

将来計画策定に向けた 取り組み

「下熊谷地域の将来計画」を策定するため、「まちづくりアンケート」や、「下熊谷地域の未来を語り合う会」という名称でのワークショップなどを通じて、話し合いを重ねてきました。

現状を知る

将来像や、まのこ
とを伝える

計画書の
完成

H30.10
～
R2.10・11

準備
会合

振興会役員会など
各地域での意見交換会など

R2.12.7

調査

中学生以上を対象としたまちづくりアンケート実施

R3.2.21

話し合い

ワークショップ
「下熊谷地域の
未来を語り合う会」

R3.6.28

総会

計画を共有しよう！



下熊谷地域 まちづくり将来計画（案）

下熊谷地域の目指す将来像

～未来をはぐくむ地域のきずな～

<はぐくむ>とは・・・

「育む」は愛情を持って大切に育てることを表します。例えば「愛を育む」「友情を育む」「夢を育む」といったように使います。愛情を持って、優しく大切に育てることを表しているの、思いやりのあるイメージとなり、慈しみ・愛しさ・温かみ・優しさ・いたわりといった豊富な気持ちが込められています。

下熊谷地域にお住まいのみなさんへ

下熊谷地域では、将来にわたって住みよい地域であり続けるよう、まちづくりアンケートや「下熊谷地域の未来を語り合う会」などを開催し、子どもから大人まで、地域のみなんで下熊谷の未来について話し合ってきました。

今後とも、お互いの顔と顔が見え、子どもから大人までみんなが活躍する活気あふれる下熊谷地域の実現を目指し、「下熊谷地域まちづくり将来計画」を策定しました。

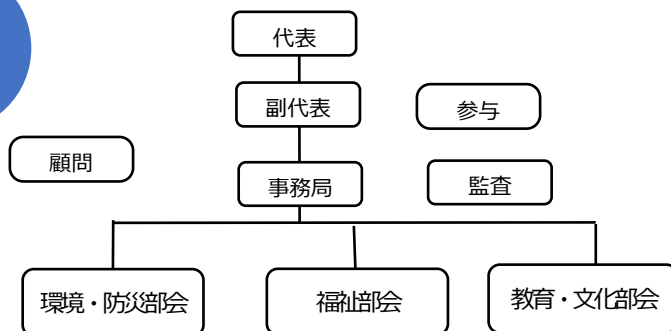
ここに暮らすすべての人が夢と希望をもって生活し、全員参加のまちとして、未来を担う子どもたちに引き継いでいけるよう、一緒に取り組んでいきましょう！

本計画は、時代の変化に合わせ、必要に応じて見直しを行っていきます。

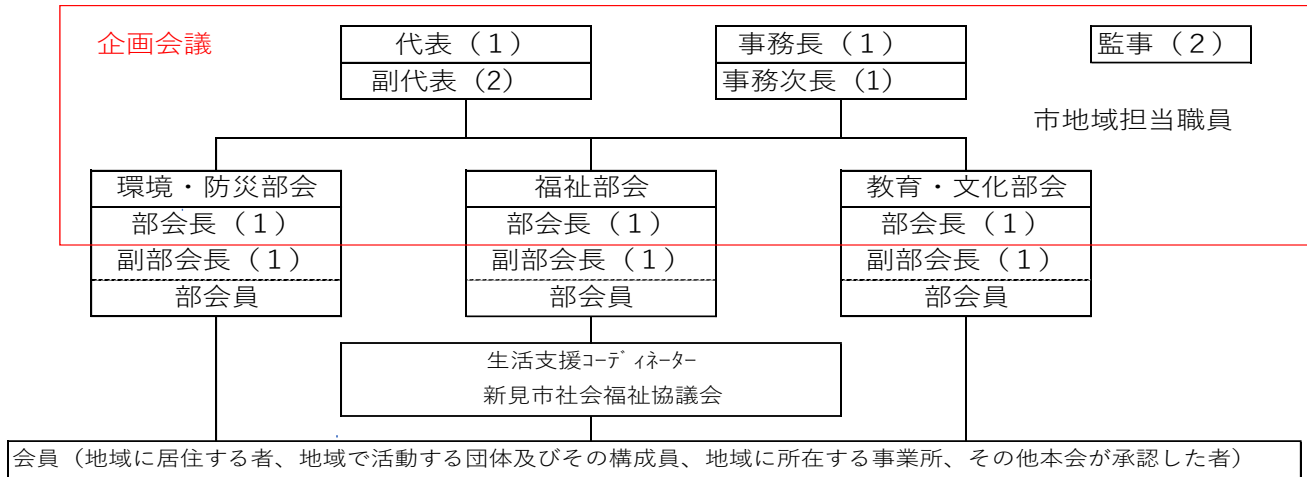
▶発行 下熊谷はぐくむ会（令和3年6月）

下熊谷はぐくむ会 組織図

推進体制



下熊谷はぐくむ会 組織体制図

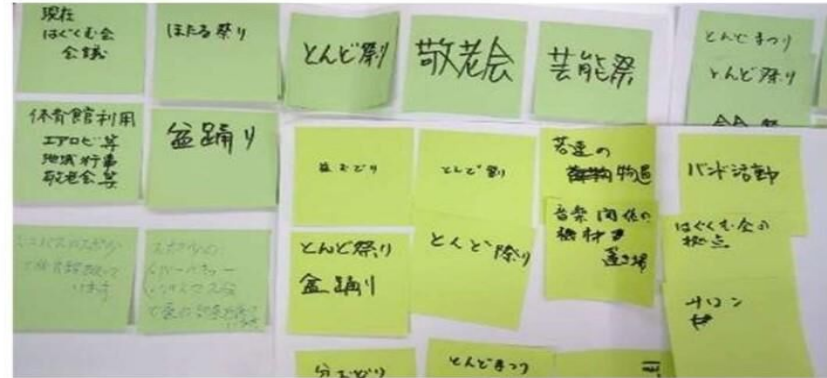


- 代表、副代表、事務長、事務次長、監事、部会長は、総会で選出する。
- 企画会議は、代表、副代表、事務長、事務次長、監事、部会長で構成する。
- 副部会長は、部会員の互選により選任する。 ■任期は2年、再任は妨げない。

下熊谷はぐくむ会 部会構成

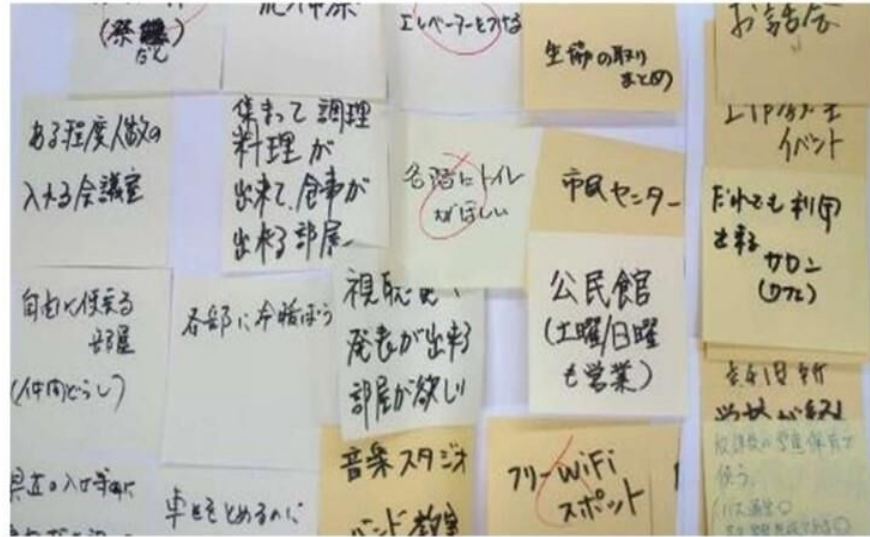
環境・防災 部会	福祉 部会	教育・文化 部会
各地区 理事・評議員 下熊谷地区自主防災会 防災士 新見市消防署職員 新見市消防署OB 新見市消防団北部分団	各地区 理事・評議員 民生委員 主任児童委員 愛育委員 栄養改善協議会熊谷支部 グループホームげんき 上組長寿クラブ 下地区長寿会	各地区 理事・評議員 下熊谷若連中 新見第一中学校支会 思誠小学校愛児会20支会 花桃会 すみれ会 岡山ミュージックジャンボリー実行委員会

1. 現在の小学校の使い方



	現在、どのように使っているか
交流・スポーツ・趣味	敬老会・サロン・体育館利用・エアロビ・地域行事・敬老会・バレーボール 体育館でのスポーツ・バンド活動・音楽関係の機材置き場
地域づくり・会議・会合	はぐくむ会の拠点・話合いの場として使用・会合・はじしお会役員会・小人数の会議 思誠小学校支会行事・支会のあつまり（小学校、中学校で）・地域行事の集合場所
お祭り・イベント】	とんどまつり（お守り、お札、かきぞめをやく）・ほたるまつり 夏まつり（バザー、盆おどり）・盆おどり・芸能祭
子ども・若連	子ども達のミニバス・スポ少で体育館使っています スポ少の（・バーベキュー・クリスマス会）で畳の部屋を使っています 子供とボールあそび・小学生のイベント時の集合場所・若連の物置・機材置き場
その他	旧教員室と校長室は、グループホーム元気さんが使用 投票所として使っています・周辺の草刈

2. 理想となる場や必要な機能



【機能別整理】

① 各地域や自宅から拠点まで

こういう機能が欲しい(場や機能)	どう使いたいか (使い方のアイデアやこれからの地域づくりのヒント)
<ul style="list-style-type: none"> • 県道の入口等に案内板を設ける • 交通手段の整備・改善 (ら・くるっと、バス) 	小学校へ行くまでが難しい方(高齢者・障害者・子ども)を含め、地域住民みんなが拠点へ行くことができるようにしたい

全体コンセプト

いつでも誰でも気軽に集える下熊谷みんなの居場所

環境・防災部会

いざという時に
支え合える拠点

- 災害時の避難場所
 - ・各地区・各家からの避難所運営
 - ・防災拠点としての機能
 - ・防災避難訓練
- 地域資源の活用
 - 【みんなの得意を活かして】
 - ・郷土料理を教えてもらえる場づくり
例:料理教室 地域の料理自慢の市
郷土料理 おふくろの味
 - 【地域の資源を活かして】
 - ・移動販売所 野菜販売所
 - ・地域で採れたものでイベント・マルシェ

福祉部会

住民同士が
気軽に集える拠り所

- 高齢者の居場所
 - ・高齢者が集まれる常設のサロン
 - ・健康アップ
 - ・いつでも気軽に来れる憩いの場づくり
 - ・高齢者向け常設サロン
 - ・郷土料理を伝授できる料理教室
 - ・祭事や法事。葬式等の利用
- 買い物・移動支援
 - ・小学校へ来るための移動支援
 - ・移動販売所
 - ・野菜販売所
 - ・生協の取りまとめ

教育・文化部会

子どもの居場所
多世代・交流場所

- 子どもの居場所
 - ・子どもたちが安心して遊べる環境づくり
 - ・子どもたちが自由に学習できる場づくり
例:放課後教室・学童
長期休みの子どもの居場所
- 多世代・交流場所
 - ・地域内の資源を活かして定期的なイベント
例:クリスマス会、お化け屋敷、音楽イベント
ミニ文化祭、ミニ芸能祭
 - ・趣味の場としての活用
例:カラオケ、バンド練習場、
囲碁 将棋、天体観測 など

旧下熊谷小学校を
下熊谷の地域づく
りの
の拠点に!



各部会ごとに
連携・助け合いながら



拠点の活用方法
具体的な活動

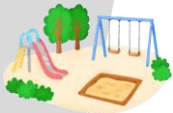


今の学校で
は、どこが利
用しづらい?

どんな部屋
や機能が
必要?



どんな利用
方法があ
る?



全体的な場や機能の充実

1. 取組みの周知と共有
2. 拠点計画の見直しと改善
3. はぐくむ会本部としての機能構築
4. いつでも誰でも利用できる場

拠点の活用

グラウンド
の整備

みんなが
使いやすい
トイレ

冷暖房
の整備

地域・若者
が使いやすい
ネット環境

イベント等
広くみんな
で
使える部屋

サロンや
調理等の
スペース

改修工事前

遊具の老朽化
地面の凸凹、雑草



改修工事完了後

バスケットゴール

ぞうさん滑り台

グラウンド半面舗装

ウッドチップ敷詰め



多機能トイレ



多目的室(教室 2 部屋突き抜け)



畳みの部屋



調理室



交流の間



エアコン 1h-100円



はぐくむ会事務室



図書室



年間活動内容

○地域振興会での活動(小規模多機能自治体**設立以前**)

- ・春の交通安全県民運動への協力
- ・日本赤十字社の募金活動
- ・清掃活動（集会所・廃校舎周辺等）
- ・敬老会
- ・とんど焼きまつり
- ・県道沿いの防犯灯の維持管理
- ・資源ごみ収集場所の管理
- ・グラウンドゴルフ大会
- ・熊谷地域芸能祭

○下熊谷はぐくむ会の活動(小規模多機能に**移行後**の活動) * **上記活動はすべて継承**

- | | |
|------|--|
| 事務局 | <ul style="list-style-type: none">・地域に飛び出せ大学生！おかやま元気！集落研究・交流事業<ul style="list-style-type: none">* 新見公立大学－サロン等、岡山理科大学－鳥獣研究、岡山大学－留学生・地域づくりセンター指定管理者業務・遊具の点検・先進地域の視察 |
| 教育文化 | <ul style="list-style-type: none">・花桃公園まつり・納涼祭 |
| 福祉 | <ul style="list-style-type: none">・高齢者向けサロンの実施－年6回・友愛訪問事業－年3回 |
| 防災 | <ul style="list-style-type: none">・防災訓練実施・要支援者 避難計画支援事業・防災士の取得支援 |

4月
花桃公園まつり

公園まつり

2025年4月16日(日)



10時より13時頃
花桃公園周辺
新見市下熊谷2215-6
(消防機庫斜めうしろ)
観覧：無料
臨時駐車場あり：150台分
@小雨でも決行

屋台
・大山おこわ ・ばら寿司
・唐揚げ・おもち ・お茶
・かりんとう饅頭など

特設ステージ
◆こもれび・弾き語り
◆SAKAMORI・アコースティック



教育・文化部会

8月
納涼祭



教育・文化部会

1月
とんどまつり

とんど祭り



令和5年1月15日（日）

旧下熊谷小学校グラウンド

午前9時 開式

- 1) 神事
- 2) 年男・年女による点火
- 3) とんど焼き
- 4) お楽しみ抽選会



<<新型コロナウイルス感染予防のため>>

- * 昨年同様でぜんざい、焼き餅、お酒、お茶等の飲食物は
- * 必ずマスクを着用してください。又、人との間隔を十
- * 消毒液を用意しますので、手指消毒をお願いいたしま

教育・文化部会

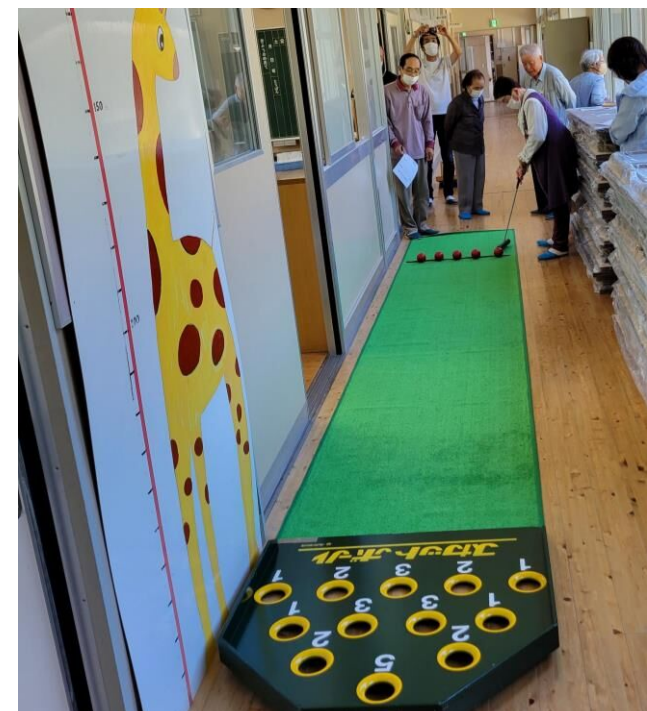
6月
シニアカフェ



8月
たこ焼き & 木のおもちゃ



10月
3世代交流グラウンドゴルフ



福祉部会



10月
防災訓練

防災部会

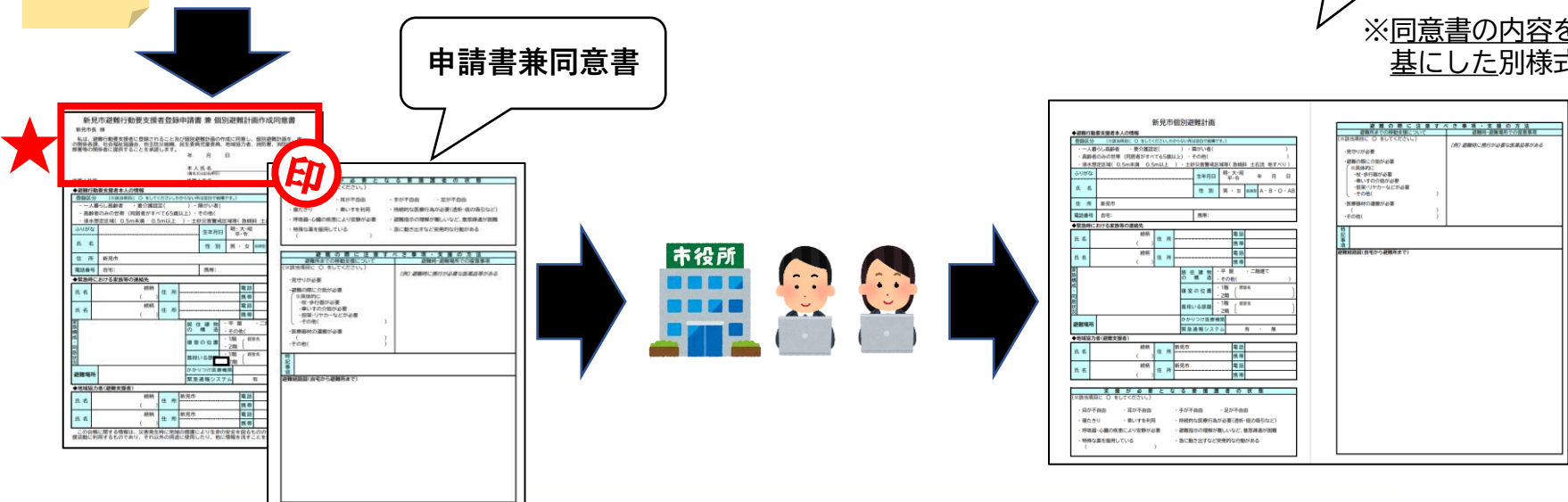
◆個別避難計画づくりに向けた流れ

※今日の『個別避難計画策定会議』

①声かけ方法 (誰がどうやって)

計画書

※同意書の内容を
基にした別様式



【更新・記入 確認】
②同意書の紙をもって△△さんへ
★に記入&押印
更新&記入をしながら確認

【回収&提出 → 計画書として転記】
③回収した申請書兼同意書を市へ提出
同意書をもとに市役所で確認しながら
計画書として内容を転記

【再確認・計画策定】
④計画書をもって△△さんへ
△△さんと一緒に確認
いざという時のための計画に。



家へ訪
問して
...



ご近所で...



地域で...

いざという時使える
計画書にするために

『個別避難計画策定会議』

防災部会

下熊谷はぐくむ会 地域調整会議

人口(世帯数)	496人(208世帯)
高齢者人口(率)	189人(38.1%)
個別避難計画策定数	今年度対象:26 今年度策定:21 (R5年3/6最終会議 時点)

※人口等データ…令和5年2月28日時点

9/8

すすめ方の検討・相談

ポイント

独自でおこなう
全世帯対象
『避難者カード』
と連動した計画づくり

今ある活動をしっかり活かそう！



リスト全員を漏れないようにしよう

第1回
10/25

災害時の想定マッピング
今回対象となる方の洗い出し
計画同意書記入の声かけ役割分担
～避難者カードの配布とあわせて～

ポイント

同意書の有無・計画に関わらず地区全体で把握していく取組へ

第2回
12/5

各地区での声かけ状況共有
声かけ回ってどうだった？

2/15

個別避難計画の状況確認と作戦会議

ポイント

個別避難計画を機会に地域としての避難場所の考え方の整理

小学校や各地区集会所の考え方を整理を



防災部会

第3回
3/6

個別避難計画の活用とこれからのに向けて
～平成30年豪雨をもとにシミュレーション～

ポイント

防災をきっかけにはぐくむ会としての活動計画と一緒に考える

3/27

来年度に向けた作戦会議

避難者カード

外面

防災部会

下熊谷地区全世帯対象 『避難者カード』

避難を考える！		わたしの避難所	
いつ逃げる？ (大雨の時)	<ul style="list-style-type: none"> 大雨・洪水注意報が発令されたら！ 高齢者等避難が発令されたら！ 避難指示が発令されたら！ 	風水害の時	地震の時
近所のだれに声かける？	・	避難の時に必ず持っていくもの	
何で逃げる？	<ul style="list-style-type: none"> 徒歩 自転車 車(自分で運転) 車(家族・知人の車) 	緊急時連絡先	
一緒に避難をする人	<ul style="list-style-type: none"> 家族 親戚 知人 	新見市	0867-72-6111
		消防署	119
		警察署	110
		緊急伝言ダイヤル	家族と連絡がとれない時 171

一緒に避難する人と日頃から声かけ合いましょう。

下熊谷地区独自で作成・実施 (令和4年度)

内面

わたしのこと		緊急時連絡先(家族・親戚・知人等)	
ふりがな氏名			
血液型	(RH) A・B・AB・O	性別	男・女
生年月日	西暦 年 月 日(歳)		
連絡先	自宅 住所 TEL		
	勤め先 住所 TEL		
かかりつけの病院	いつも飲んでいる薬		
食物アレルギー (はい・いいえ)		避難所で配慮してほしいこと	
1. えび 2. かに 3. 小麦 4. そば 5. 卵 6. 大豆 7. その他()		避難所でお手伝いができること	
		けがの手当・子どもの世話・その他	

新見市個別避難計画策定に向けての活動共有会

～今年度モデル地区(4地区)の活動共有～

未来へつなぐ千屋野の里



支え合う上熊谷をつくる会



下熊谷はぐくむ会



石蟹地区自主防災会



防災部会

令和5年3月14日(火)18:30～20:00 まなび広場にいみ 小ホール

2021年10月～2023年4月
新見公立大学との連携事業

- ・生き生き活動拠点強化事業－ワークショップ
- ・いきいきサロン－講演、イベント企画
- ・花桃公園まつり－ステージ応援、アシスト

第1部門

5

地域に出て、地域に学ぶ
地域交流プロジェクト in 下熊谷



このプロジェクトでは、廃校となった**旧下熊谷小学校を地域の拠点**として有効活用することを目標としています。地域を知るためにお祭りに参加させていただいたり、健康体操やお正月飾りづくりなど、各学科の強みを活かした**福祉サロンを開催**し、地域住民同士の交流の場づくりを行ったりしました。

(地域福祉学科3年

事務局



2022年 7月～1月
地域にとびだせ大学生！
集落研究・交流事業

集落における餌資源がイノシシやサルとの 捕獲数に与える影響について

岡山理科大学 動物保全学研究室

7月
センター3階多目的室

